

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-20	高等学校	国語	古典B	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	古B 342	新編古典B 改訂版		

1. 編修の基本方針

- 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てることができるよう配慮する。
- 教育基本法第2条に示された教育目標への対応に配慮しつつ、高校生が身に付けるべき教養として必要な古典作品を幅広く収録し、我が国の伝統と文化を尊重する態度をはぐくむよう配慮する。
- 教材化にあたっては、生徒の興味・関心を喚起しつつ、言語活動を通して、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
【古文編Ⅰ】 1 古文に親しむ 今昔物語集 御伽草子 竹取物語	○古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知ることがをねらいとし、説話教材1作品、物語教材2作品を収録した。(第1号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を寛容できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.12-32
2 笑いと思案 徒然草 方丈記	○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、随筆教材2作品を収録した。(第1号) ○個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、幅広い内容の章段を収録した。(第2号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.34-44
3 人がうたうとき 伊勢物語 今物語	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、和歌をテーマとした物語教材1作品、説話教材1作品を収録した。(第1号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.46-56
4 都への思い 土佐日記 更級日記	○古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を養うことをねらいとし、日記教材2作品を収録した。(第1・5号)	pp.58-70
5 いくさと人間 平家物語 義経記	○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、軍記物語教材2作品を収録した。(第1号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.72-88
6 恋のうた 百人一首の恋の歌 百人一首	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、百人一首をテーマとした近代以降の文章1作品、および百人一首全首を収録した。(第1号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.90-96
7 愛の行方 好色五人女 曾根崎心中	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、小説教材1作品、浄瑠璃教材1作品を収録した。(第1号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.98-110
【古文編Ⅱ】 1 知恵の働き 沙石集 今昔物語集 宇治拾遺物語	○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、説話教材3作品を収録した。(第1号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.112-122
2 宮中の生活 枕草子	○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、随筆教材1作品を収録した。(第1号) ○個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、幅広い内容の章段を収録した。(第2号) ○我が国の自然風土と言語文化の密接な関係に気づくことをねらいとし、作者の自然観や美意識が表れた章段を収録した。(第4号)	pp.124-136

	○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	
3 歴史と人間 大鏡	○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、歴史物語教材1作品を収録した。(第1号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.138-150
4 女性の視点 紫式部日記 蜻蛉日記	○古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を養うことをねらいとし、日記教材2作品を収録した。(第1・5号)	pp.152-158
5 愛の始まり 源氏物語	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材1作品を収録した。(第1号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.160-170
6 自然と人生 発句でたどる『奥の細道』 去来抄 漁父の利	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、俳諧教材3作品を収録した。(第1号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.172-186
7 家族を思う 大和物語 雨月物語	○古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を養うことをねらいとし、中古の物語教材1作品、近世の小説教材1作品を収録した。(第1・5号)	pp.188-202
【漢文編Ⅰ】 1 動物の寓話 漁父之利 借虎威 朝三暮四	○幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、現代でも使われる言い回しのもととなった故事を3作品収録した。(第1号) ○寓意を含んだ短文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.204-212
2 叙情のしらべ 絶句 秋浦歌 竹里館 贈別 題自画 送友人 秋興	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、漢詩の名作7首を収録した。(第1号) ○生命を尊び、自然を大切にすることをねらいとし、自然を詠んだ漢詩を収録した。(第4号) ○漢語の特色を活かして緊密に構成された韻文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.214-226
3 英雄の物語(一) 鴻門の会 四面楚歌	○当時の時代背景や地理などの幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、史伝教材1作品を収録した。(第1号) ○歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号) ○中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.228-244
4 人間の本質 理想の人間像 性善と性悪	○幅広い知識と、真理を求める態度を養うことをねらいとし、中国古典思想の主要な書物であり、日本人の精神形成にも影響を与え続ける『論語』3章、『孟子』2章、『荀子』1章を収録した。(第1・5号) ○収録した思想教材のテーマとして「理想の人間像」「性善と性悪」を掲げ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号)	pp.246-256
5 理想の世界 桃花源記 古潭	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材1作品を収録した。(第1号) ○古典の現代的意義を知り、理解を深めることをねらいとし、古典に関連する現代詩1作品を収録した。(第5号)	pp.258-266
【漢文編Ⅱ】 1 説得の技 子罕弗受玉 不死之薬 先從隗始	○幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、説得の技を説いた逸話を3作品収録した。(第1号) ○歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号) ○短文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.268-274
2 人生と社会 桃夭 飲酒 子夜呉歌 石壕吏 雑説	○幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことをねらいとし、漢詩の名作4首と唐代の論説文1作品を収録した。(第1号) ○「人生と社会」をテーマとした詩文を通じて、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるよう、教材化に配慮した。(第2号) ○漢語の特色を活かして構成された韻文と、達意の名文として知られる韓愈の文章の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.276-284

<p>3 英雄の物語(二) 水魚の交わり 劉備の死 諸葛亮の死</p>	<p>○当時の時代背景や地理などの幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、史伝教材 1 作品を収録した。(第 1 号) ○歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第 3 号) ○中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)</p>	<p>pp.288-300</p>
<p>4 生きる知恵 自然に生きる 厳格な法治</p>	<p>○幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことをねらいとし、中国古典思想の主要な書物であり、日本人の精神形成にも影響を与え続ける『老子』2 章、『莊子』1 章、『韓非子』1 章を収録した。(第 1・5 号) ○収録した思想教材のテーマとして「自然に生きる」「厳格な法治」を掲げ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第 3 号)</p>	<p>pp.302-310</p>
<p>5 黄梁一炊の夢 枕中記 黄梁夢</p>	<p>○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材1作品を収録した。(第 1 号) ○古典の現代的意義を知り、理解を深めることをねらいとし、古典に関連する現代文学作品1本を収録した。(第 5 号)</p>	<p>pp.312-320</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点

- 古文編では全単元、漢文編では主要な単元の冒頭に「～への招待」の特集ページを設けて、その単元で扱う作品の内容・成立・魅力などについて写真やイラストをまじえながらわかりやすくまとめ、古典学習への生徒の意欲や関心を喚起するよう配慮した。
- 古典教材に関連する近代以降の作品や鑑賞文を掲載するなど丁寧な教材化を施し、古典への抵抗感をできるだけ和らげるよう配慮した。
- 古典の教材理解に役立つ背景知識をまとめたコラム「古典の窓」を収録した。
- 教材を入りに、さまざまなテーマで言語活動に取り組むためのコラム「表現の窓」を収録した。
- 付録として「古典文法のまとめ」や「古典文学史年表」のほか、日本のことわざ・慣用句や故事成語の一覧を設け、古典の言語文化が現代まで受け継がれていることを実感させ、生徒の言語生活にも資するよう配慮した。
- 巻末に「参考図録」を設け、古典に関する資料や図版をテーマごとにまとめた。説明には模型や写真を多用して、生徒が古典の世界を視覚的かつ具体的にイメージし、興味・関心を喚起することができるよう配慮した。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、担当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-20	高等学校	国語	古典B	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	古B 342	新編古典B 改訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●基本方針

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てることができるよう配慮した。

●構成

- 1 扱いやすさを考慮して、全体を古文編・漢文編の2編に、それぞれをさらに第I部・第II部の2部に分けた。
- 2 これまでの高等学校学習指導の継続性を考慮して、単元構成はジャンル別とした。

●教材選択にあたっての配慮

教材は、高校生が身に付けるべき教養として必要な古典作品を幅広く収録し、我が国の伝統と文化を尊重する態度をはぐくむよう配慮した。

●教材化の工夫

- 1 教材化にあたっては、生徒の興味・関心を喚起しつつ、言語活動を通して、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮した。
- 2 古文編では全単元、漢文編では主要な単元の冒頭に「～への招待」の特集ページを設けて、その単元で扱う作品の内容・成立・魅力などについて写真やイラストをまじえながらわかりやすくまとめ、古典学習への生徒の意欲や関心を喚起するよう配慮した。
- 3 古典教材に関連する近代以降の作品や鑑賞文を掲載するなど丁寧な教材化を施し、古典への抵抗感をできるだけ和らげるよう配慮した。
- 4 脚注、注意する語句、設問などを適切に付した。
- 5 教材を学習する上での手がかりとして、「学習のポイント」「言語活動」「単元課題」などを設け、その教材の学習を実践的に行うことができるよう配慮した。

●コラムの充実

- 1 古典の教材理解に役立つ背景知識をまとめたコラム「古典の窓」を収録した。
- 2 教材を入りに、さまざまなテーマで言語活動に取り組むためのコラム「表現の窓」を収録した。

●付録の充実

- 1 付録として「古典文法のまとめ」や「古典文学史年表」のほか、日本のことわざ・慣用句や故事成語の一覧を設け、古典の言語文化が現代まで受け継がれていることを実感させ、生徒の言語生活にも資するよう配慮した。
- 2 巻末に「参考図録」を設け、古典に関する資料や図版をテーマごとにまとめた。説明には模型や写真を多用して、生徒が古典の世界を視覚的かつ具体的にイメージし、興味・関心を喚起することができるよう配慮した。

2. 対照表												
図書の構成・内容	学習指導要領の内容										箇所	担当授業時数
	(1)指導事項					(2)言語活動例						
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ			
〔古文編〕												
古典への招待			○	○	○						pp. 12-13	
今昔物語集 安倍晴明	○	○	○	○	○		○				pp14-17	
<表現の窓1>古典の背景を調べる							○		○		pp. 18-19	
御伽草子 一寸法師	○	○	○	○	○		○		○		pp. 20-25	
竹取物語 かぐや姫の昇天	○	○	○	○	○			○			pp. 26-31	
<表現の窓2>唱歌を調べる				○	○		○		○		p. 32	
随筆への招待			○	○	○						pp. 34-35	
徒然草 今日は…/丹波に…/断章三編	○	○	○	○	○			○	○		pp. 36-41	
方丈記 行く河の流れ	○	○	○	○	○			○			pp. 42-43	
<古典の窓1>『方丈記』に見られる都の災害			○	○	○						p. 44	
歌物語への招待			○	○	○						pp. 46-47	
伊勢物語 初冠/あづま下り	○	○	○	○	○			○	○		pp. 48-53	
今物語 うしろむき	○	○	○	○	○		○	○			pp. 54-55	
<古典の窓2>『伊勢物語』の謎			○	○	○						p. 56	
日記への招待			○	○	○						pp. 58-59	
土佐日記 門出/忘れ貝	○	○	○	○	○			○			pp. 60-63	
更級日記 あこがれ/源氏の五十余巻	○	○	○	○	○			○			pp. 64-69	
<古典の窓3>『土佐日記』と…			○	○	○						p. 70	
軍記物語への招待			○	○	○						pp. 72-73	
平家物語 祇園精舎/木曾の最期	○	○	○	○	○			○			pp. 74-83	
義経記 静の白拍子	○	○	○	○	○			○			pp. 84-87	
<古典の窓4>琵琶法師と白拍子			○	○	○						p. 88	
百人一首への招待			○	○	○						pp. 90-91	
百人一首の恋の歌	○	○	○	○	○			○			pp. 92-96	
百人一首	○	○	○	○	○			○			折込	
<古典の窓5>百人一首			○	○	○						折込	
西鶴・近松への招待			○	○	○						p. 98	
好色五人女 お七と吉三郎	○	○	○	○	○			○			pp. 99-103	
曾根崎心中 道行/<参考>Michiyuki	○	○	○	○	○		○		○		pp. 104-106	
<古典の窓6>世界無形文化遺産に…			○	○	○						pp. 107-110	
説話への招待			○	○	○						pp. 112	
沙石集 児の飴食ひたること	○	○	○	○	○	○	○	○			pp. 113-115	
今昔物語集 高陽親王のからくり人形	○	○	○	○	○			○	○		pp. 116-118	
宇治拾遺物語 十二の「子」文字	○	○	○	○	○			○	○		pp. 119-121	
<古典の窓7>落語と笑い話			○	○	○						p. 122	
『枕草子』への招待			○	○	○						p. 124	
枕草子 中納言…/野分の…/大蔵卿ばかり/雪の…/<参考>香炉峰下、…	○	○	○	○	○			○	○	○	pp. 125-134	
<表現の窓3>「古今異義語辞典」を作る	○					○			○		pp. 135-136	
歴史物語への招待			○	○	○						pp. 138-139	
大鏡 道真左遷/競べ弓/鶯宿梅			○	○	○		○	○			pp140-149	
<古典の窓8>藤原道長の栄華			○	○	○						p. 150	
日記への招待			○	○	○						p. 152-153	
紫式部日記 和泉式部と清少納言	○	○	○	○	○			○			pp. 154-155	
蜻蛉日記 町の小路の女	○	○	○	○	○			○			pp. 156-158	
『源氏物語』への招待			○	○	○						pp. 160-161	
源氏物語 桐壺/若紫	○	○	○	○	○			○			pp. 162-169	
<古典の窓9>『源氏物語』の影響			○	○	○						p. 170	
俳諧への招待			○	○	○						pp. 172-173	
発句でたどる『奥の細道』	○	○	○	○	○				○		pp. 174-179	
去来抄 行く春を	○	○	○	○	○			○	○		pp. 180-181	
漁父の利	○	○	○	○	○		○	○			pp. 182-183	
<表現の窓4>連句を作る					○				○		pp. 184-186	
『雨月物語』への招待			○	○	○						p. 188	
大和物語 をばすて	○	○	○	○	○			○	○		pp. 189-191	
雨月物語 浅茅が宿	○	○	○	○	○			○	○		pp. 192-201	
<古典の窓10>八俣の大蛇			○	○	○						p. 202	

図書の構成・内容	学習指導要領の内容									箇所	担当授業時数
	(1)指導事項					(2)言語活動例					
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ		
〔漢文編〕											
漢文への招待	○				○	○				pp. 204-205	
漁父之利	○	○	○	○	○	○		○		pp. 206-207	
借虎威	○	○	○	○	○	○				pp. 208-209	
朝三暮四	○	○	○	○	○	○				pp. 210-212	
<古典の窓11>故事成語を活かす	○		○		○	○				p. 212	
漢詩への招待			○	○	○					pp. 214-215	
漢詩（絶句/秋浦歌/竹里館/贈別 題自画/送友人/秋興）	○	○	○	○	○		○	○		pp. 216-226	
<参考>『唐詩の鑑賞』/『杜甫詩ノオト』				○	○		○			p. 221, 225	
『史記』への招待			○	○	○					pp. 228-229	
鴻門の会（范増のたくらみ/壮士樊噲/ 樊噲の弁説）								○		pp. 230-238	
四面楚歌（虞美人との別れ/項王の最 期）								○		pp. 238-242	
<古典の窓12>司馬遷と『史記』				○						p. 243	
<表現の窓5>項羽や劉邦はどんな人物 だったのだろう				○				○		p. 244	
諸子百家への招待			○	○	○					p. 246-247	
理想の人間像（君子、食無求飽/質勝文 則野/子路問君子/居天下之広居）	○	○	○	○	○			○		pp. 248-251	
性善と性悪（不忍人之心/人之性悪）	○	○	○	○	○			○		pp. 252-255	
<古典の窓13>孔子・孟子の思想				○						p. 256	
物語への招待			○	○	○					p. 258	
桃花源記	○	○	○	○	○		○			p. 259-262	
古譚		○	○	○	○		○			pp. 263-265	
<表現の窓6>桃源郷の謎を解こう									○	p. 266	
子罕弗受玉	○	○	○	○	○			○		pp. 268-269	
不死之薬	○	○	○	○	○			○		pp. 270-271	
先従隗始	○	○	○	○	○			○		pp. 272-273	
<参考>陳舜臣『小説十八史略』			○	○						p. 274	
漢詩（桃夭/飲酒/子夜呉歌/石壕吏）	○	○	○	○	○		○	○		pp. 276-283	
<参考>夏目漱石『草枕』				○	○		○			p. 279	
雑説	○	○	○	○	○			○		pp. 284-286	
「三国志」への招待			○	○	○					pp. 288-289	
三国志（水魚の交わり/劉備の死/諸葛 亮の死）	○	○	○	○	○	○		○		pp. 290-299	
<古典の窓14>出師の表				○						p. 300	
自然に生きる（無為而無不為/小国寡民 /タオ-老子/渾沌）	○	○	○	○	○		○	○		pp. 302-307	
<参考>湯川秀樹「東西の思想」				○	○		○			p. 307	
厳格な法治（侵官之害）	○	○	○	○	○			○		pp. 308-309	
<参考>蔡志忠「職分を堅守せよ」		○		○			○			p. 310	
枕中記	○	○	○	○	○		○			pp. 312-317	
黄梁夢		○	○	○	○		○			pp. 318-320	